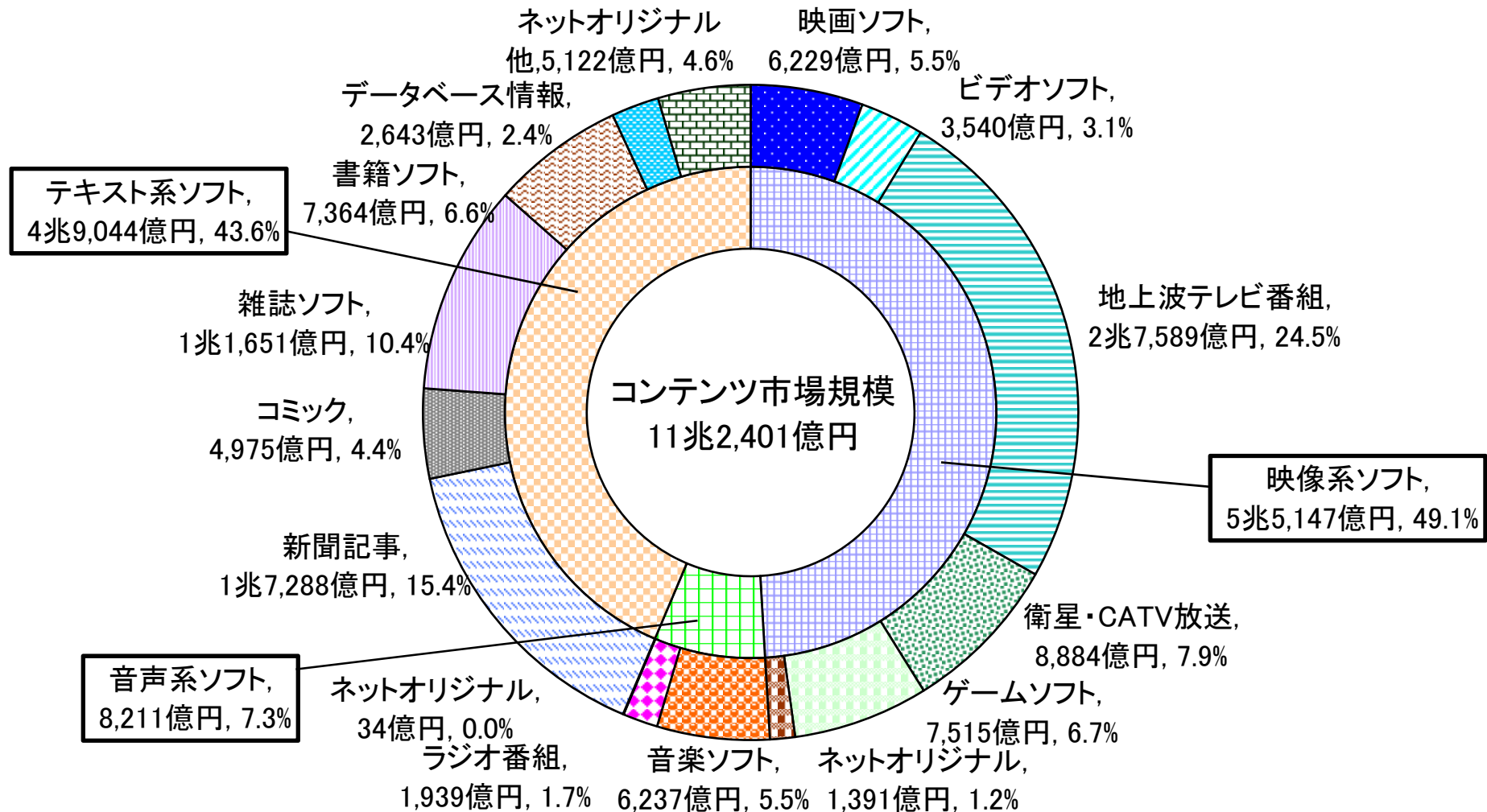


**メディア・ソフトの制作及び流通の実態
に関する調査結果の概要について**

平成26年5月

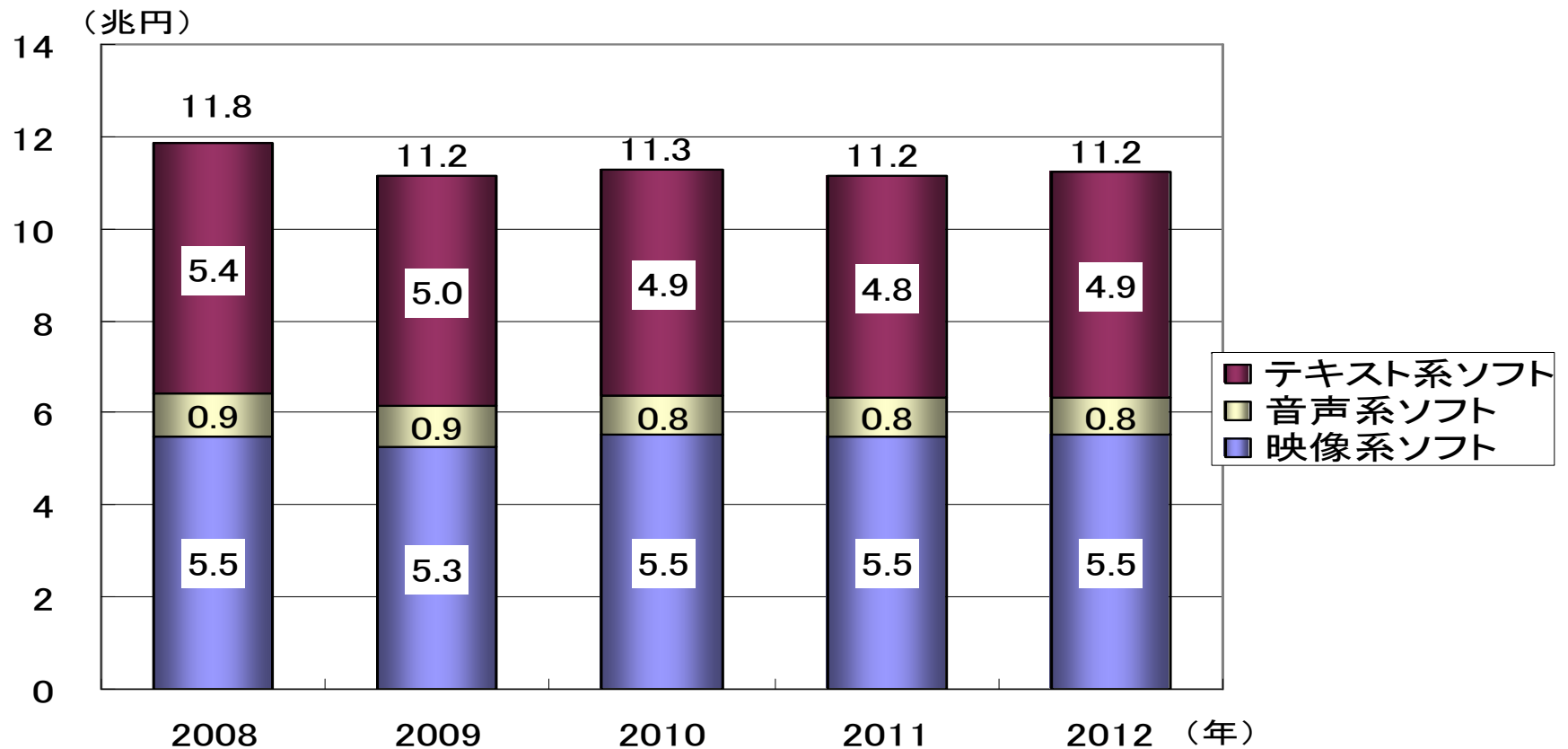
コンテンツ市場規模(2012年)

2012年のコンテンツ市場規模は11兆2,401億円。ソフト別の市場構成比では、映像系ソフトが全体の約5割、テキスト系が4割強、音声系は1割弱をそれぞれ占める。



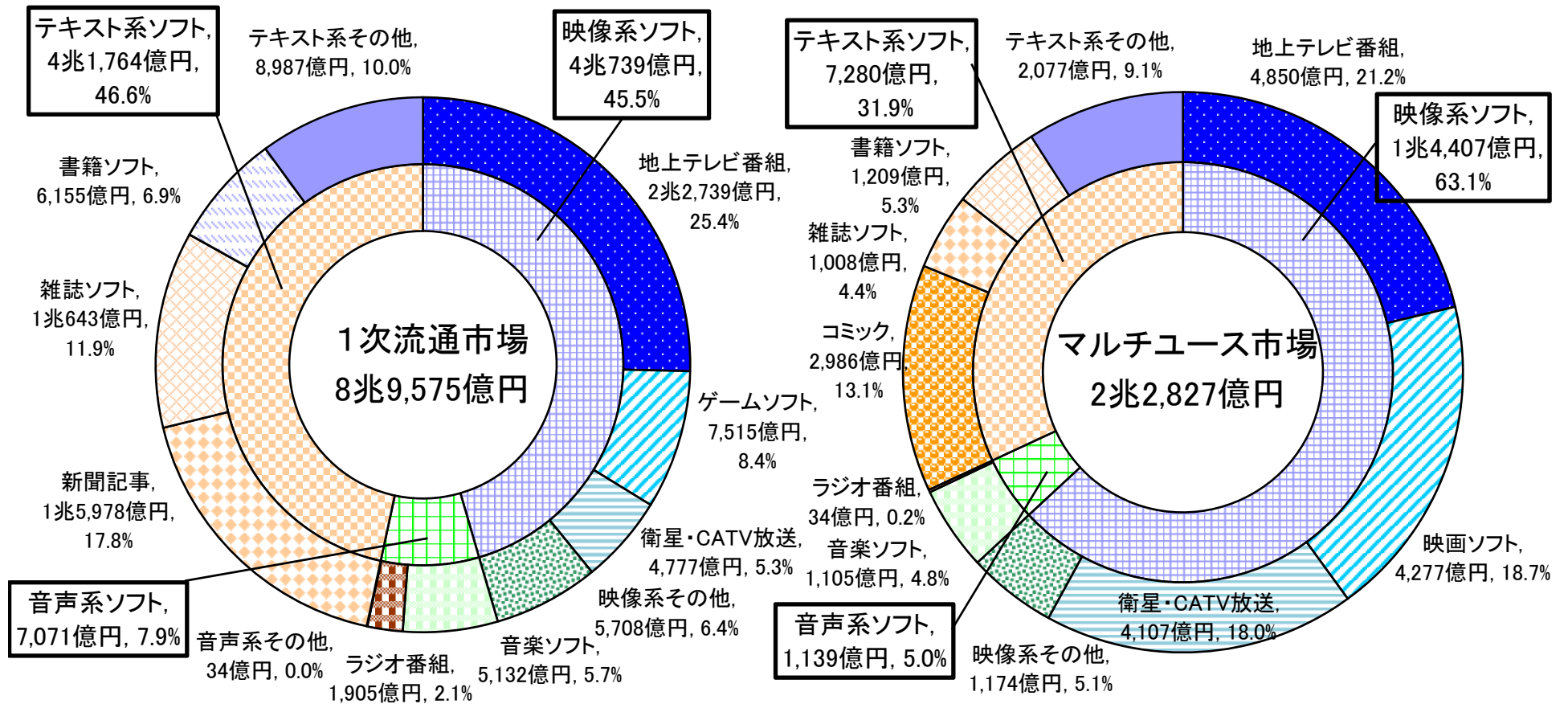
コンテンツ市場規模の推移(ソフト形態別)2012年

コンテンツ市場全体の市場規模は、2009年以降ほぼ横ばいで推移している。また、ソフト形態別にみても、映像系ソフト市場、音声系ソフト市場、テキスト系ソフト市場ともにほぼ横ばいで推移している。



一次流通市場とマルチユース市場(2012年)

2012年の一次流通市場は、8兆9,575億円となり市場全体の約8割を占める。また、2012年のマルチユース市場は、2兆2,827億円となり市場全体の約2割を占める。



※「映像系その他(一次流通市場)」の内訳
 映画: 1,952億円、ビデオ: 2,366億円、ネットオリジナル: 1,391億円

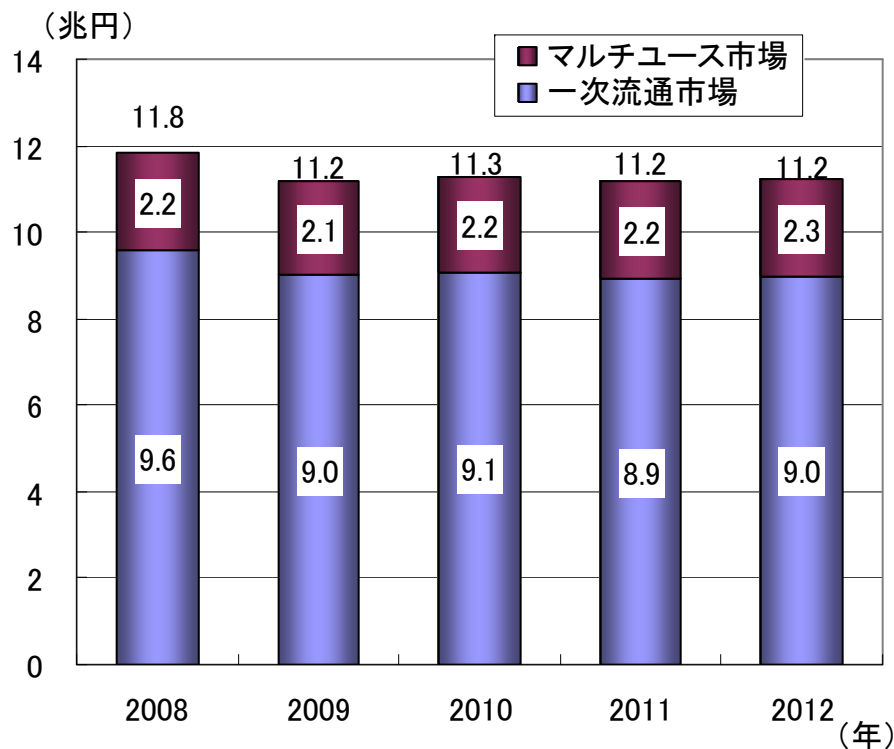
※「映像系その他(マルチユース市場)」の内訳
 ビデオ: 1,174億円

一次流通市場:
 あるソフトが、当初想定するメディアにおいて流通する場合のこと。

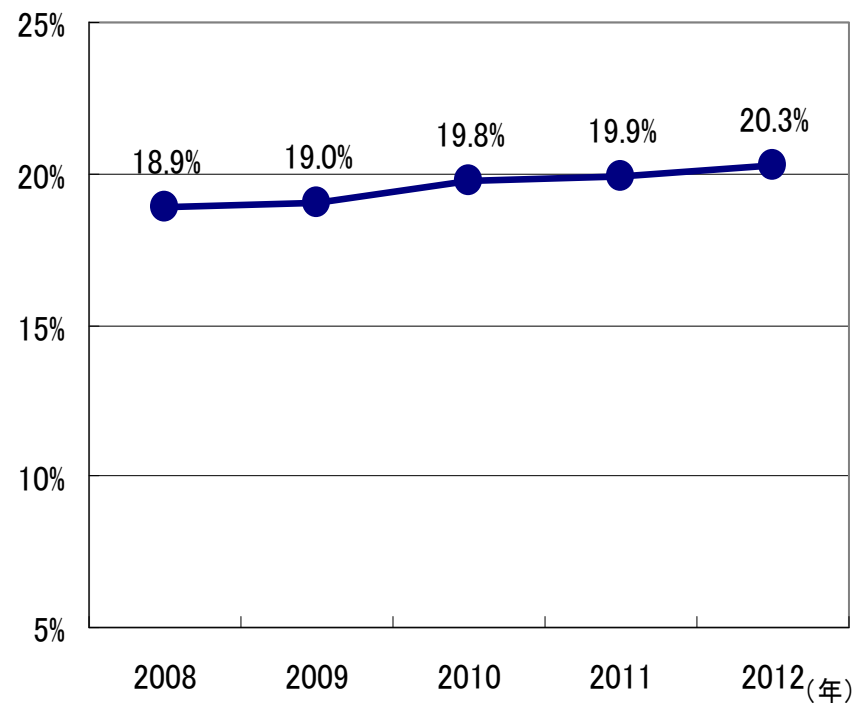
マルチユース市場:
 あるソフトが、内容の同一性を保ちつつ、当初想定したメディアとは異なるメディアで流通する場合のこと。

1次流通市場、マルチユース市場の各流通段階別のコンテンツ市場規模は、ともに2009年以降ほぼ横ばいで推移している。なお、マルチユース率の推移をみると、2008年以降わずかながら増加傾向となっている。

流通段階別コンテンツ市場規模の推移

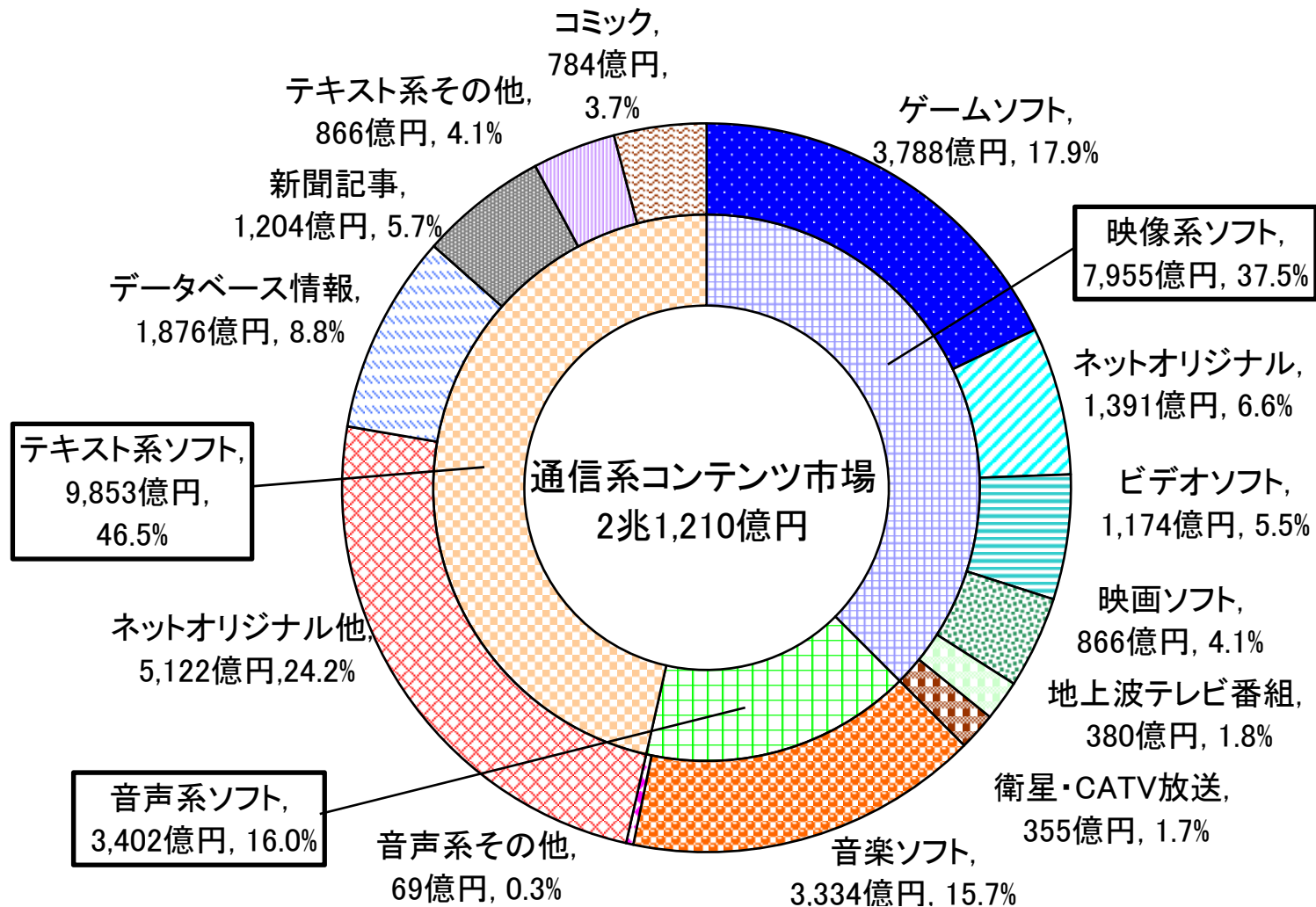


マルチユース率の推移



通信系コンテンツ市場規模(2012年)

コンテンツ市場のうち、パソコンや携帯電話向けなどインターネット等を経由した通信系コンテンツの市場規模は2兆1,210億円となった。ソフト形態別の市場構成比では、テキスト系が46.5%、映像系が37.5%、音声系が16.0%を占める。



通信系コンテンツ市場の推移(ソフト形態別)2012年

通信系コンテンツの市場規模は、着実に増加してきている。ソフト形態別に見ると、映像系ソフトは2008年と2012年を比較して2倍の0.8兆円に達しており、通信系コンテンツ市場の進展を牽引している。また、テキスト系ソフトにおいても増加傾向がみられる。

